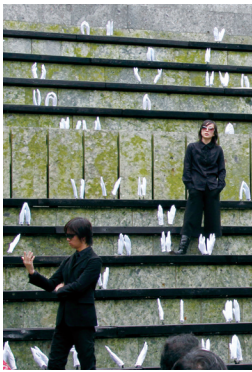


# 平成25年度「むすびじゅつ」静岡の芸術文化を掘り起こす共同事業



※終了しました。

## 演劇公演 ハブニング劇 作：上杉清文、内山豊三郎 演出：大岡淳 出演：SPAC 『此処か彼方か、はたまた何処か？』

2014年2月14日(金) 19:00開演 2月15日(土) 19:00開演 2月16日(日) 15:00開演

1967年、劇団「発見の会」の研究生公演として上演されたのが、上杉清文・内山豊三郎の脚本によるハブニング劇『此処か彼方か、はたまた何処か？』である。樋谷雄高、ランボー、中原中也らのテキストがコラージュされ、ビートルズの歌の数々が散りばめられ、混沌を混沌のままに叩きつけるこの芝居は、観客に新鮮な衝撃を与え、評論家・石子順造は新時代の息吹を感じ取った。「発見の会」の先輩として立ち会った演出家の瓜生良介は、「演劇の工の字もしらぬ連中の提出した演劇の根源的楽しみ」とこれを評し、翌68年、この演目は本公演へと昇格し再度上演された。新劇からアンガラ演劇への転換を象徴するのみならず、学生運動が高揚する、騒然たる時代状況を象徴するのがこの芝居である。この芝居に現在の我々が挑戦する意義は、かつて「アンダーグラウンド」な芸術運動に潜在しており今は失われてしまった可能性とは何なのか、60年代に夢見られた新しい社会とはどのようなものだったのかを、あぶりだすことにある。

お問合せ：SPAC・静岡県舞台芸術センター  
http://www.spac.or.jp

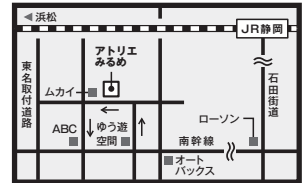
協力：一般社団法人 静岡アート支援機構

SPAC チケットセンター 054-202-3399

会場：アトリエみるめ

静岡市駿河区寿町12-21

TEL 054-289-1161



## 静岡発！ 昭和の

## 幼児指導絵本『あそび』と情景ジオラマ展 2014年2月7日(金)～3月16日(日)

静岡に豊かな情懷を育む絵本文化が花開き、全国に向けて情報発信していたことをご存知ですか？

本企画展では、静岡大学と静岡県立中央図書館、静岡県立美術館との共働により、近年再発見された静岡発の幼児教育絵本『あそび』の全容をあきらかにします。また、静岡県在住の情景作家山田卓司氏による、昭和の懐かしい情景を切り取ったジオラマを展示、立体的にも当時の静岡のイメージを楽しんでいただけます。なお、期間中に読み聞かせやワークショップも開催予定です。



「家族」山田 卓司 / 作

お問合せ：静岡県立中央図書館  
TEL 054-262-1246

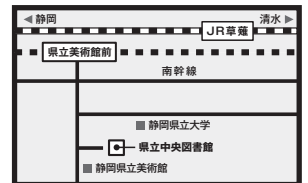
www.toshyokan.pref.shizuoka.jp/

共催：静岡大学チームこんべいとう

協力：浜松ジオラマファクトリー

会場：静岡県立中央図書館

静岡市駿河区谷田53-1



## 「幻触」シリーズ

PART 1 『丹羽勝次展』 2014年2月1日(土)～2月23日(日)

\*トークイベント 丹羽勝次×白井嘉尚 2月16日(日)18:30～19:30

PART 2 『飯田昭二展』 2014年3月1日(土)～3月23日(日)

\*トークイベント 飯田昭二×白井嘉尚×加治屋健司 3月9日(日)18:30～20:00

「幻触」は、1966～1971年の約5年間を、静岡を中心に活動していた美術家集団だった。特に、日本の現代美術が大きく転換することになる1968～1969年(2年間)の「幻触」の活動の重要性については、未だに多くは知られていない。日本の現代美術史研究者の間では、2000年以降に、石子順造と「幻触」との関係を含めて、「幻触」が当時の現代美術に与えた影響の調査・研究が始まった。ボタニカでは、「幻触」主要メンバーの飯田昭二と丹羽勝次の「幻触」活動以降に制作された作品を展示する。



幻触メンバー(2005年鎌倉画廊) 撮影：本阿弥清

お問合せ：金座ボタニカ

www.kinza-botanica.com

info@kinza-botanica.com

会場：ボタニカアートスペース

静岡市葵区研屋町25

日時：水～金16:00～21:00

土・日13:00～ 月・火休廊



## 静岡の系譜 ～80年代から現代まで～

2014年2月11日(火)～3月23日(日)

静岡に限らず地方の芸術家は中高または大学で教える教育者でも多くあることが多い。現在その教え子の中には、創作活動を行う者もいるだろう。美術教師、学芸員、または芸術振興に関わる者など、アーティストでなくても創作の現場に関わっている者もいるはずである。80年代後半に静岡で活発に活動していた芸術家グループに「A-value」がある。やはり彼らの大半は高校教師や大学教授であった。その教え子たちは現在アーティストとして活動している者も多い。このように静岡の芸術を考えるとときに教育者としての芸術家の存在を無視することはできない。このような師弟関係を軸として広く芸術に関わる者を紹介するのが本展の主旨である。また展覧会コンセプトを補完する企画として関係者のドキュメンテーション・ショートビデオを制作し、本展に合わせ上映する。



お問合せ：オルタナティブスペース・スノドカフェ

TEL 054-346-7669

www.sndcafe.net

会場：スノド カフェ

静岡市清水区上原1-7-3-2F

GALLERY UDONOS

静岡市清水区上原2-5-5-1F

